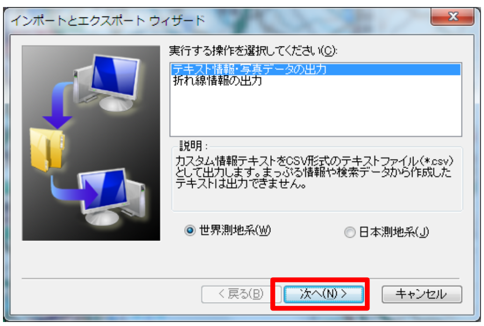
第4章　作成した情報を出力する
テキストファイルや地図データなどを出力します。

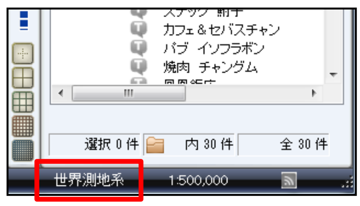
■4-1 テキストファイルとして出力
※出力できる件数は200件迄です。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[出力]の[テキスト]をクリックします。



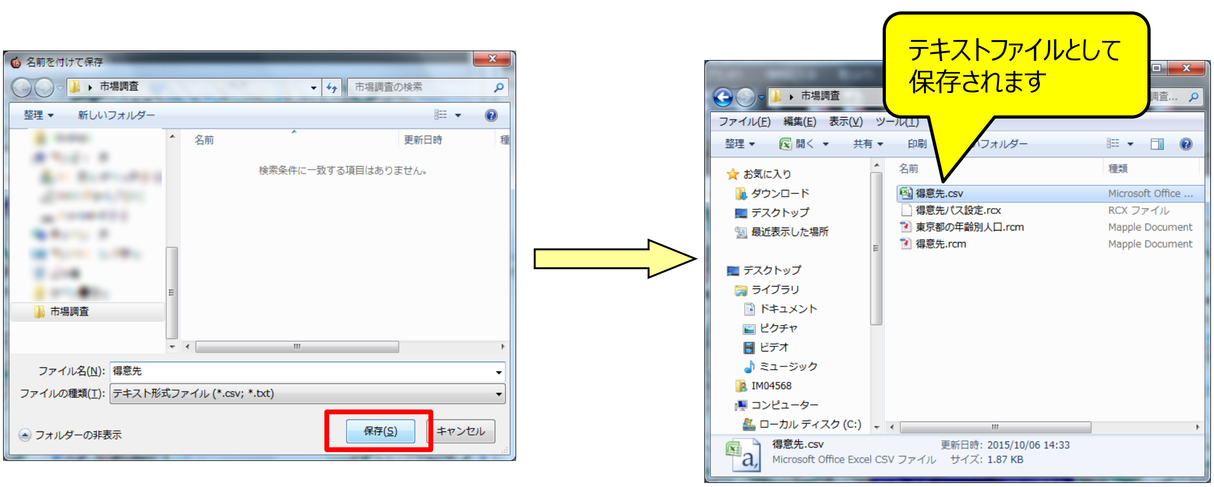
② 「テキスト情報の出力」か「GPS情報の出力」を選択、次に「測地系」を選択し［次へ］をクリックします。





【参考】
「測地系」は画面右下表示を参考にして下さい。

③ 「ファイル名」を入力後、保存先を選択し「保存」をクリックすると、テキスト（＊.CSV，＊.txt）ファイルとして保存されます。



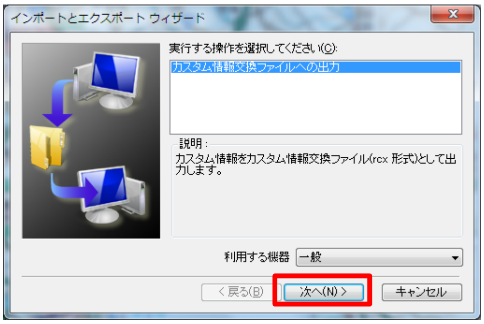
■4-2　RCXファイルとして出力

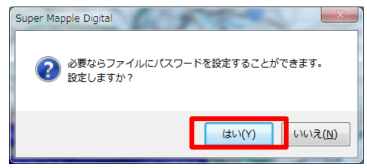
RCXファイル出力とは、カスタム情報にパスワードを設定し出力

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[出力]の[RCX]をクリックします。



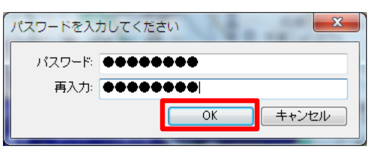
② 「カスタム情報交換ファイルへの出力」を確認して［次へ］をクリックし、パスワード設定で［はい］をクリックします。

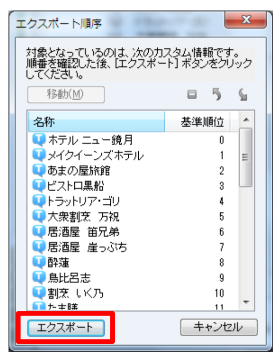




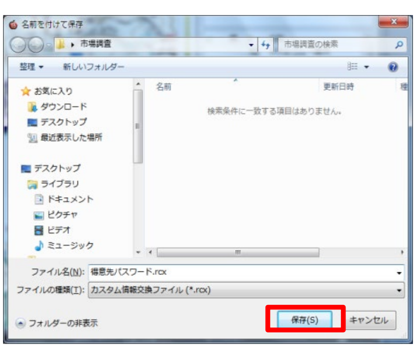
【参考】
「いいえ」の場合は、通常のカスタム情報で保存して下さい。

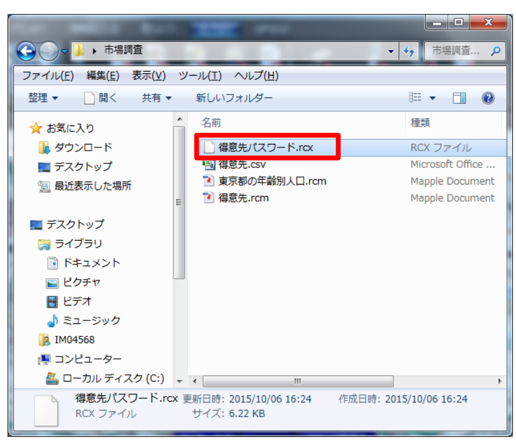
③ 「パスワード設定」を設定して［OK］をクリックし、［エクスポート］クリックします。





④ 「ファイル名」を入力し、［保存］クリックします。





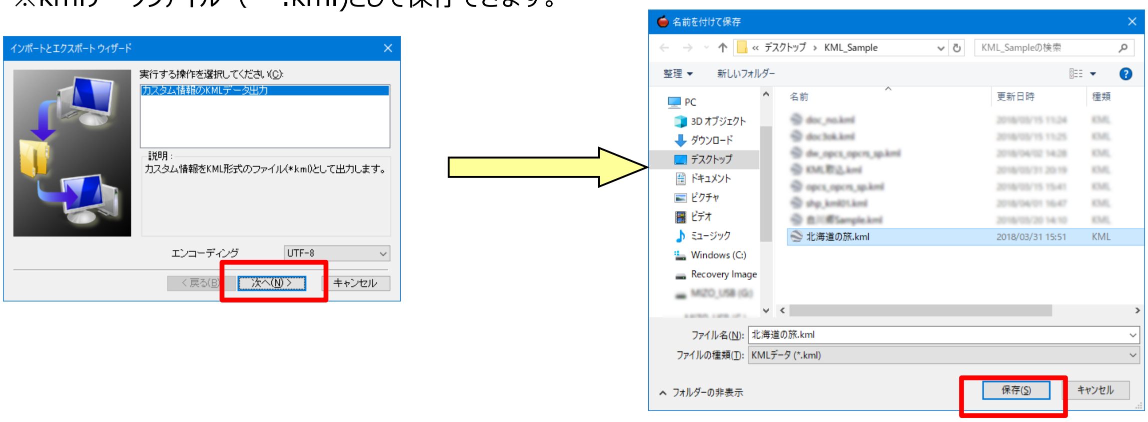
■4-3　KMLデータファイルとして出力（V19以降）

KMLとはGoogle Earthによって広められた，XMLファイルの一つです。

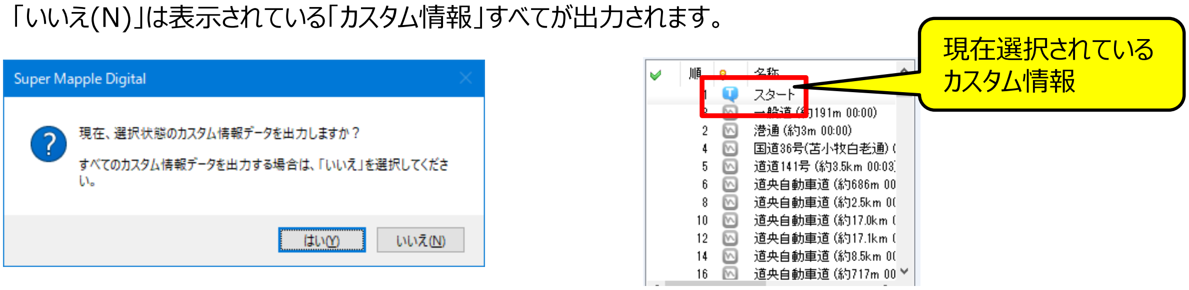
① スーパーマップル・デジタルを起動し、kmlデータファイルとして出力したい「カスタム情報」画面に表示し、[出力]の[KML]をクリックします。



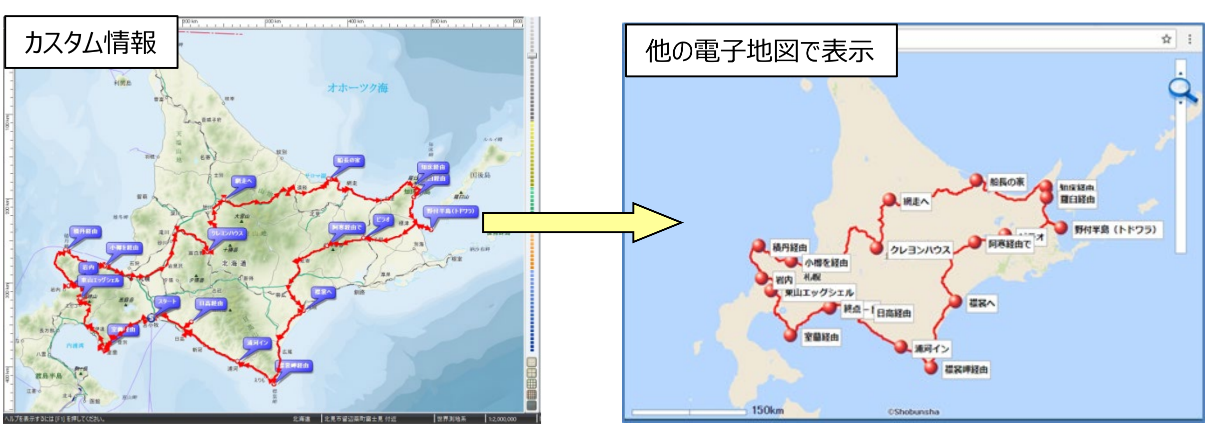
② 「カスタム情報のKMLデータ出力」を確認して［次へ］をクリックし、「ファイル名」を入力後[保存]をクリックします。
※kmlデータファイル（**.kml)として保存できます。



③ この画面が表示される場合、「はい(Y)」は現在選択されている「カスタム情報」だけが出力されます。
「いいえ(N)」は表示されている「カスタム情報」すべてが出力されます。



④ kmlデータファイルを他の地図での表示ができます。



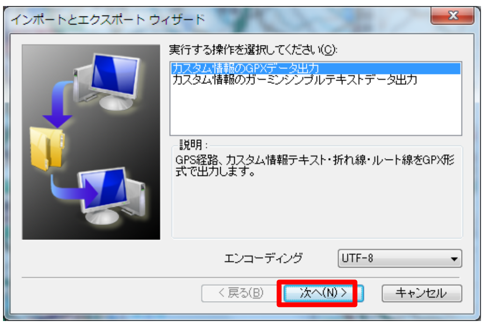
■4-4　GPS情報の出力

スーパーマップル･デジタル で作成したカスタム情報（テキスト、折れ線、ルート線、GPSログ）を他のGPS機器用にGPXデータ、もしくはガーミン（ガーミン社製）シンプルテキストデータとして出力し、他のアプリケーションや機器で、カスタム情報を利用したい場合に利用します。

① スーパーマップル･デジタルを起動し、[出力]の[GPS情報]をクリックします。



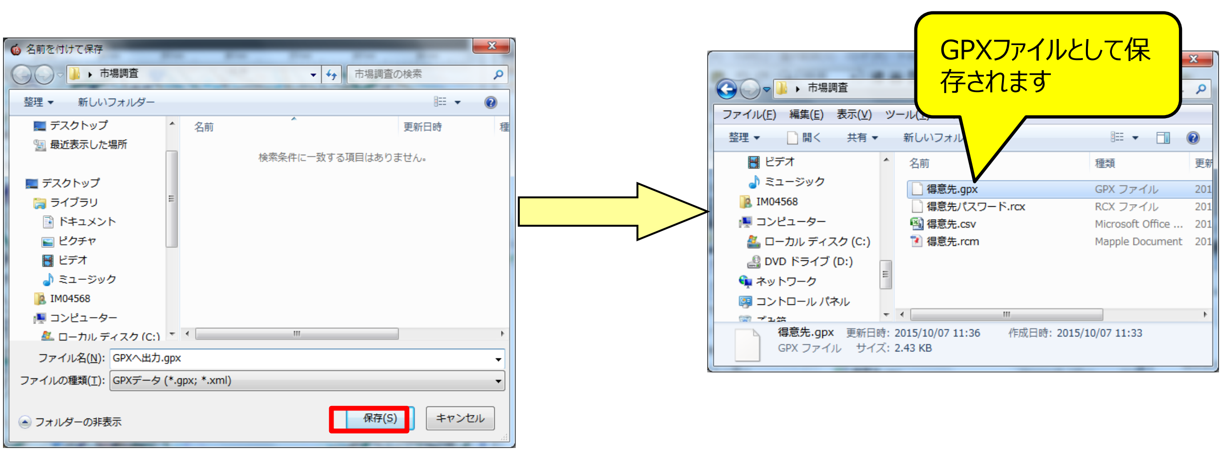
② 使用する形式を選択して、［次へ］をクリックします。



【参考】
・GPXデータ出力を選択した場合、出力文字のエンコーディングを「UTF-8」もしくは「Shift-JIS」から選択することができます。通常はUTF-8を選択しておいてください。

・GPXデータは、KML形式やKMZ形式に変換するツールがインターネットで公開されています。これらを利用すると Google Maps やGoogle Earth を使ってプランニング結果や写真情報をWebで公開することもできます。

③「ファイル名」を入力し、［保存］クリックすると、選択した形式のファイルで保存されます。



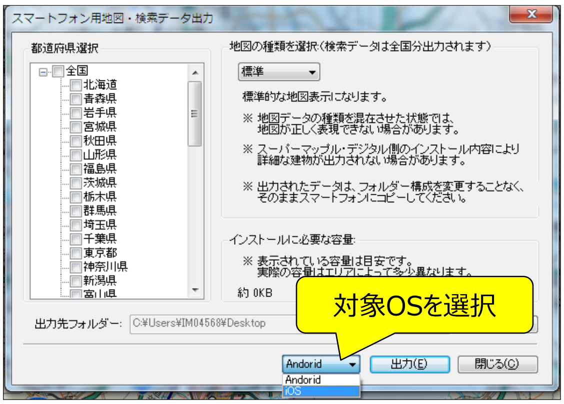
■4-5　スマートフォンへ出力

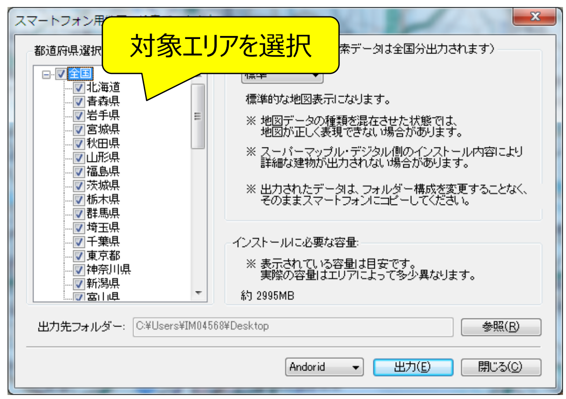
「スマートフォンへ出力」とは、Android,iOSのスマートフォンやタブレットへ「地図データ・検索データ」を出力します。

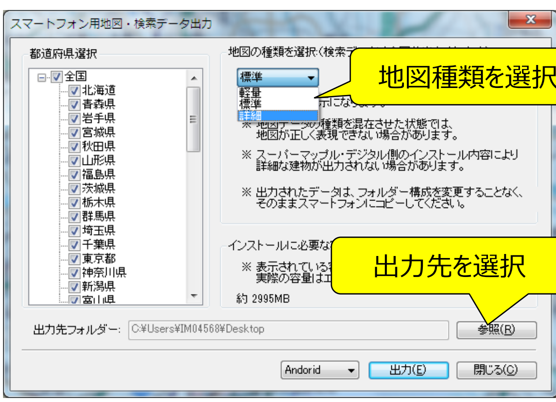
① スーパーマップル・デジタルを起動し、[出力]の[スマートフォン]をクリックします。

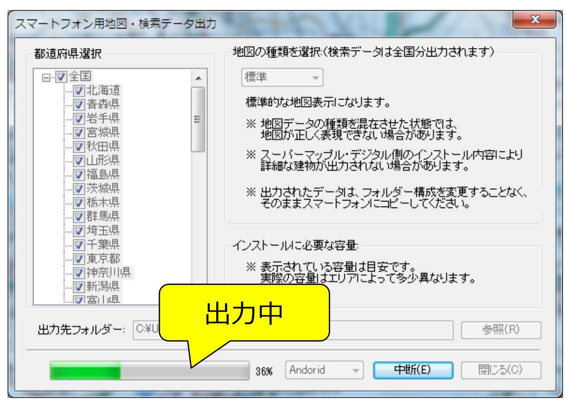


② 地図データ出力画面で、対応OS（Android,iOS）を選択し、選択エリア、地図の種類、出力先を選定し 出力(E) をクリックします。



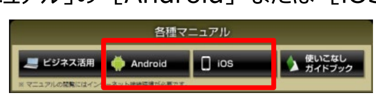






※出力されるファイル名：Android版は「Android」、iOS版は「SuperMapple.smdmap」となります。

【参考】
・使い方等については画面右上の ガイドマップ を選択し、「各種マニュアル」の［Android］または［iOS］を参照して下さい。



■4-6　地図画像を出力

地図を画像ファイルとして出力します。
画像ファイルは、BMP,PNG,GIF形式での出力です。なお、地図画像ファイルに表示される昭文社の著作権を削除しての利用は認められておりません。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[出力]の[地図画像]をクリックします。

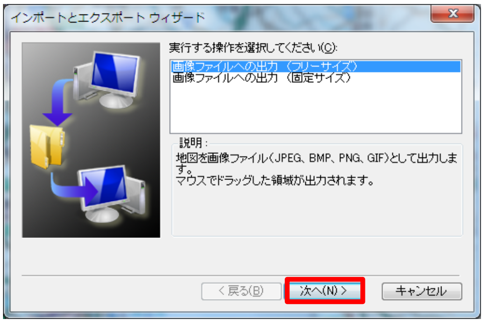


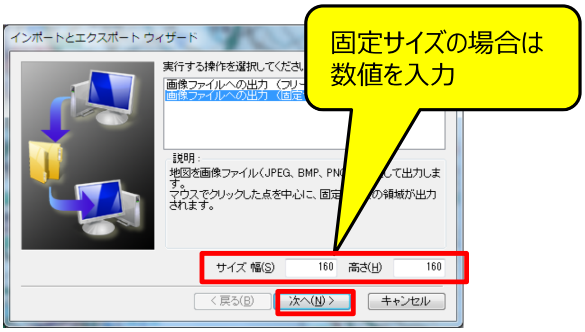
② ［利用許諾］画面で個人で使用する場合は［個人で利用します］クリック。
商業利用する場合（論文なども含む）は［商業利用に関して問合せます］をクリックします。



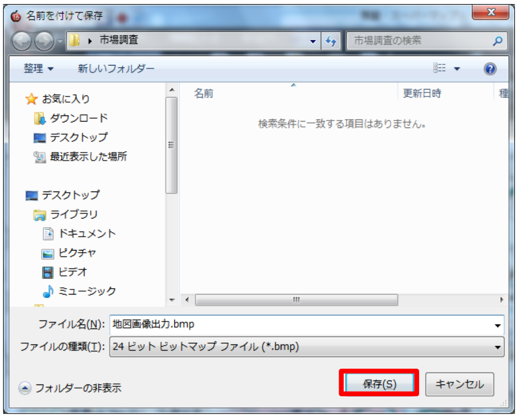
【参考】
・［商業利用に関して問合せます］をクリックすると、Webブラウザーが起動し、「スーパーマップル・デジタル　お問い合わせフォーム」ページが開きますので、地図画像の許諾に関してお問い合わせください。

③ 地図を切出す方法を選択し、［次へ］をクリックします。
「フリーサイズ」は、マウスで切出す領域をドラッグします。
「固定サイズ」は、幅と高さを入力します。最大値は1280迄です。





④「ファイル名」を入力、［保存］をクリックすると、選択した形式のファイルで保存されます。



■4-7　略地図を作成・出力

略地図とは、目的地までのルートをシンプルに表示し、途中の目印となる施設と通過する道だけを強調した簡略な地図です。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[出力]の[略地図]をクリックします。

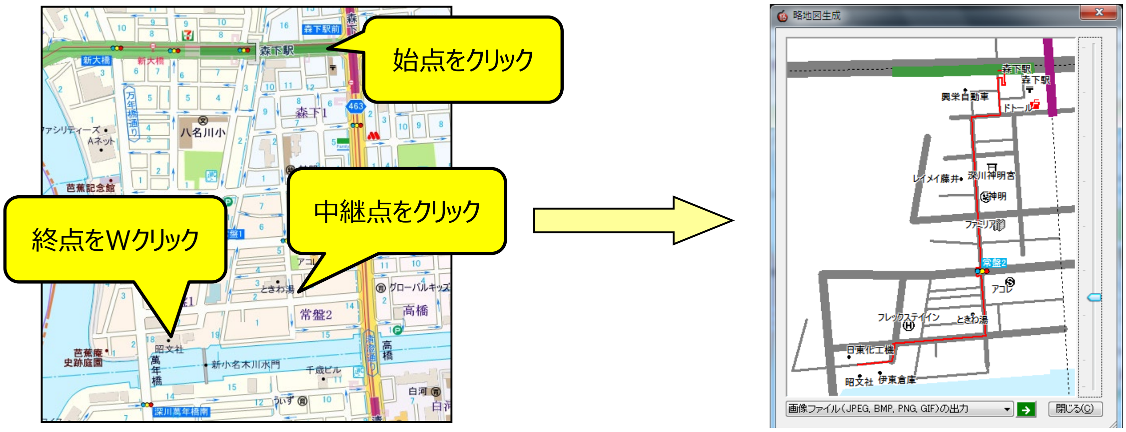


② ［利用許諾］画面で個人で使用する場合は［個人で利用します］クリック。
　商業利用する場合（論文なども含む）は［商業利用に関して問合せます］をクリックします。

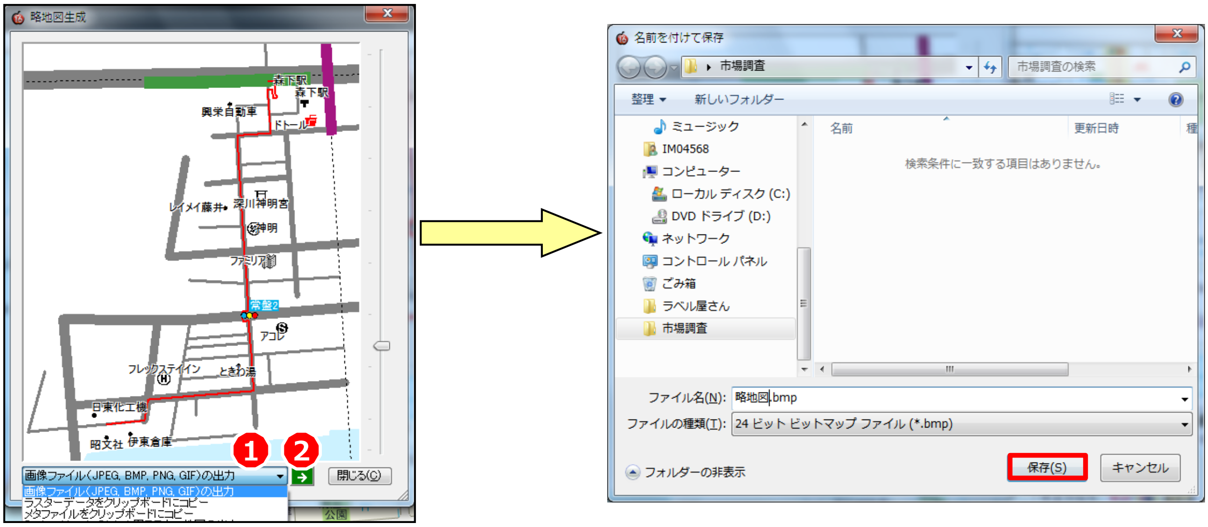


【参考】
・［商業利用に関して問合せます］をクリックすると、Webブラウザーが起動し、「スーパーマップル・デジタル　お問い合わせフォーム」ページが開きますので、地図画像の許諾に関してお問い合わせください。

③ 略地図を作成する始点をクリックし、中継点をクリック、終点をWクリックすると作成されます。



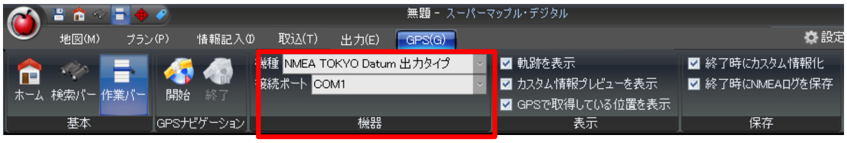
④ ①をクリックし、出力形式を選択後、②の矢印をクリックし、「ファイル名」を入力、［保存］をクリックすると選択した形式のファイルで保存されます。



■その他　GPS機器との連携

市販されているGPS機器を接続して、現在地の座標を取得したり、GPSログを記録することが出来ます。

① GPS機器をPC本体に接続し、リボンの[GPS]タブ→[機器]グループ→[機器]コンボボックスより、ご利用になる機器の［機種］と［接続ポート］を設定します。



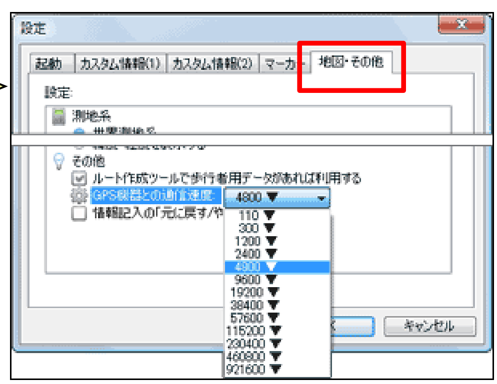
【参考】
・GPS機器の取り扱い方法やセットアップ方法は、お使いのGPS機器のマニュアルをご覧ください。

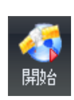
・対応しているGPSのタイプは、以下の通りです。
「NMEA TOKYO Datum 出力タイプ」
「NMEA WGS-84 出力タイプ」
「Windows 位置センサー」
※Windows 位置センサーとはWindows7以降に搭載された
　Windows Sensor and Location プラットフォームに対応したGPS機器を指します。
・Windows 位置センサーを利用するにはOSのコントロールパネルで機能を有効にする必要があります。
・操作の方法はOSのヘルプをご覧ください。

【参考】
・［機種］は通常の場合、[NMEA TOKYO Datum]で正しく動作します。
もし、位置が一定して左上にずれて表示される場合は、GPS機器側の測地系といわれる情報が、TOKYO-Datumでなく、WGS-84になっている場合が考えられます。
この場合は、[NMEA WGS-84]に変更してみてください。
NMEAシーケンスのうち、RMC/GLL/GGAに対応していますが、機種によっては正しく表示できないこともあります。
この場合、各レシーバーのメーカー・販売店にお問い合わせください。

② NMEA出力タイプの機器を選択した場合、必要に応じて、[クイックアクセスバー]→[設定]→［測地系］とGPS機器との通信速度を設定します。





③ リボンの[GPS]タブ→[GPSナビゲーション]グループ→[開始]ボタン 

を選択します。終了は 

です。



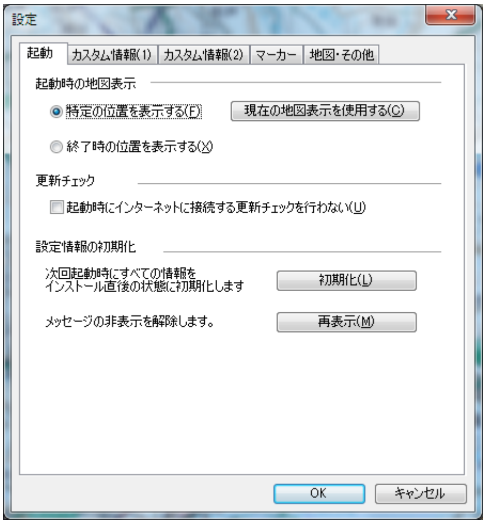
捕捉	位置確定できる状況です。3つの衛星を捕捉すると位置確定します。
待機中	位置確定するための準備をしています。もう少しで特定できます。
停止中	受信感度が弱く、位置の確定が出来ません。少し時間がかかります。
無効	位置の特定ができません
OFF	位置の特定はできません

■その他　初期設定を変更する

操作上の各種設定をします。

①［クイックアクセスバー］→ 

→［起動］タブをクリックします。



［起動時の地図表示］

●特定の位置を表示する
［現在の地図表示を使用する］ボタンをクリックすると、現在表示されている地図をホームポジションに設定します。

●終了時の位置を表示する
システムを終了したときの場所を自動的に保存しホームポジションに設定します。

［更新チェック］

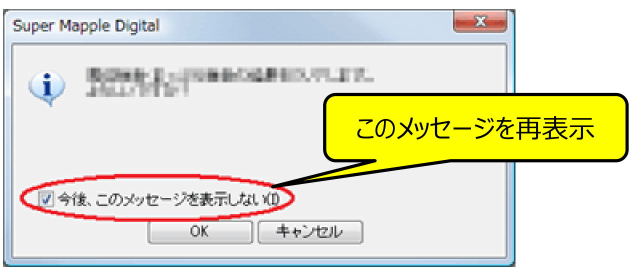
●アップデートファイルが存在するかどうかのチェックのON,OFF

［設定情報の初期化］

●システムを次回起動するときに、インストール後に行った様々な設定を元に戻すことができます。

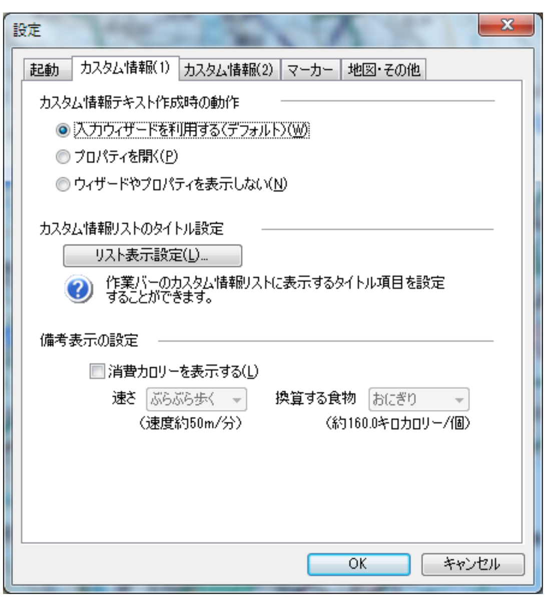
> **【参考】**
> ・初期化される設定は、「ウィンドウの位置」や「オプションの設定値」などです。
> ・作成したカスタム情報ファイル、移動ポイント、地図スタイル、入力テンプレートの情報は削除されません。

●［再表示］ボタンをクリックすると、「今後、このメッセージを表示しない」というメッセージを再度表示することができます。



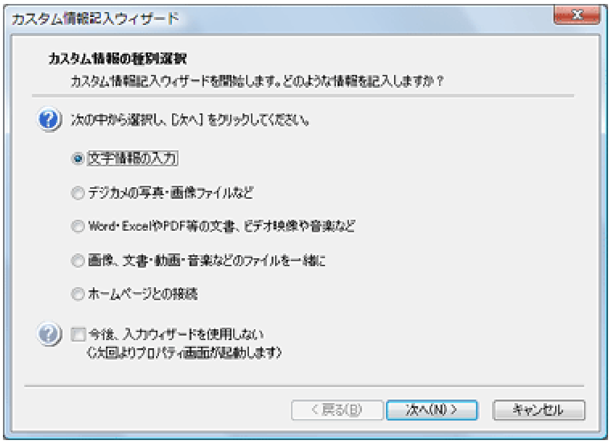
②［クイックアクセスバー］→ 

→［カスタム情報(1)］タブをクリックします。



【カスタム情報作成時の動作】

●入力ウィザードを利用する（デフォルト）
カスタム情報作成時、下図のようなカスタム情報記入ウィザードを開きます。

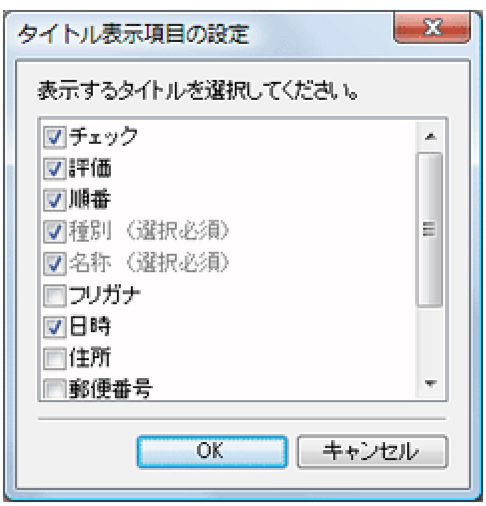


●プロパティを開く
カスタム情報作成時、下図のような プロパティウィンドウを開きます。



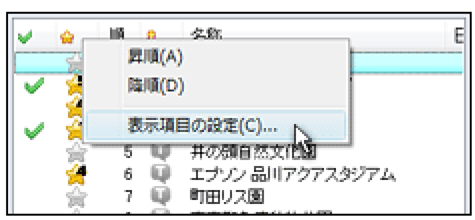
●ウィザードやプロパティを表示しない
カスタム情報の作成時、ウィンドウを表示しません。
ポイントに「名称未設定」と表示されます。

【カスタム情報リストのタイトル設定】



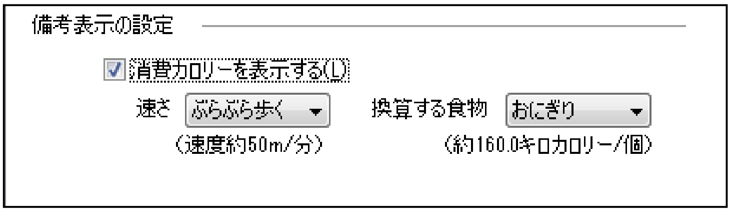
● リスト表示設定(L)... ボタンをクリックすると表示するタイトル項目を設定できます。
カスタム情報リストに表示するかどうかのチェックのON、OFF

【参考】
・タイトル項目表示の設定は、作業バーのカスタム情報リストのタイトル行の右クリックメニューからも表示することができます

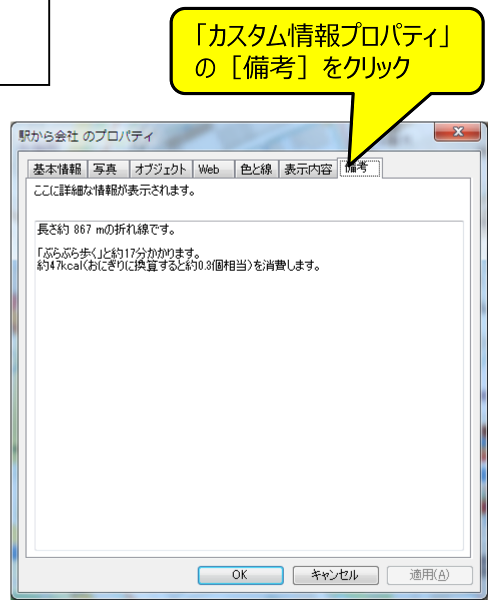


【備考表示の設定】

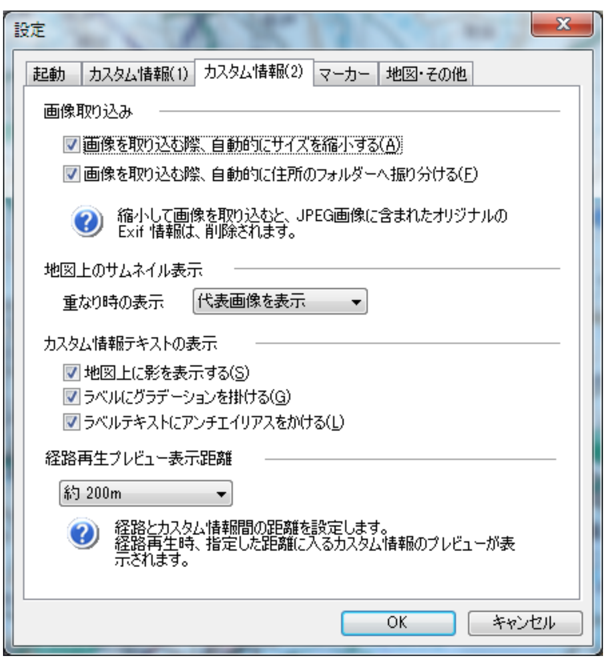
● ［消費カロリーを表示する］をチェックすると、ルート線や折れ線のプロパティに実際にその距離を歩いたときの参考の消費カロリーを表示することができます。
実際の消費カロリーは、地図上のツールチップ表示やカスタム情報プロパティで確認します。







③　［クイックアクセスバー］→  → ［カスタム情報(2)］タブをクリックします。



【画像取り込み】

●画像を取り込む際、自動的にサイズを縮小する
取り込む画像サイズを縮小します。
カスタム情報プレビューなどの画像表示時に、適切なサイズで表示することができます。

●画像を取り込む際、自動的に住所のフォルダーへ振り分ける
画像を、住所フォルダーを自動的に生成し、各住所フォルダーに画像を振り分けるかどうかを設定できます。

【地図上のサムネイル表示】

●重なり時の表示
地図上のサムネイルが複数重なった場合の表示形式を下記の例のように左から「代表画像を表示」「フォルダー表示」「サムネイル表示しない」から選択します。



【カスタム情報テキストの表示】

●カスタム情報テキストのデザインをお好みのものに変更することができます。
この設定はシステムに対する設定であり、カスタム情報ファイルに保存されるものではないことにご注意ください。
カスタム情報ファイルを他のPCで表示した場合、設定が違うと見た目が変わる可能性があります。

地図上に影を表示する	ラベル背面に影を描画するかどうか設定します。
ラベルにグラデーションを掛ける	ラベルの塗り潰し色に対して、左上から右下にかけてグラデーションをかけるかどうか設定します。
ラベルテキストにアンチエイリアスをかける	ラベル内の文字にアンチエイリアスをかけるかどうか設定します。



【経路再生プレビュー表示距離】

●経路再生時にカスタム情報プレビューが表示される距離の範囲を設定します。指定した距離の範囲にカスタム情報が存在する場合、カスタム情報プレビューが表示されます。

選択可能な距離は、「約50m」「約100m」「約200m」「約500m」「約1km」「約5km」「約10km」です。

④　[クイックアクセスバー]→ 

→　[マーカー］タブをクリックします。



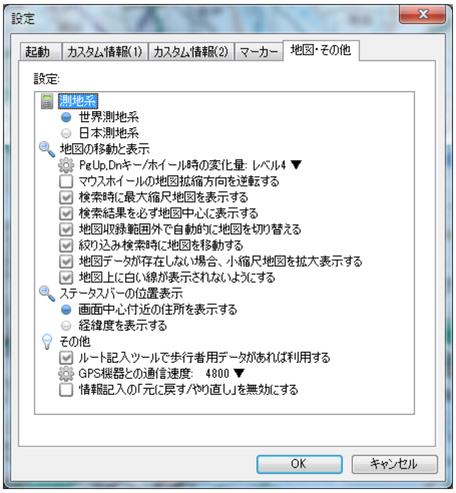
【マーカーの表示設定】

●マーカーの色
赤・緑・青のスライダーを左右に動かして
マーカーの色を変更します。
スライダー横の数値を直接変更することも可能です。

●サイズ
スライダーを左右に動かし、マーカーの大きさを変更します。
実際に近い大きさでプレビュー表示されるので設定の
参考にしてください。

⑤ ［クイックアクセスバー］→ 

→ ［地図・その他］タブをクリックします。



【測地系】
「世界測地系」と「日本測地系」を切り替えることができます。
初期状態は「世界測地系」です。

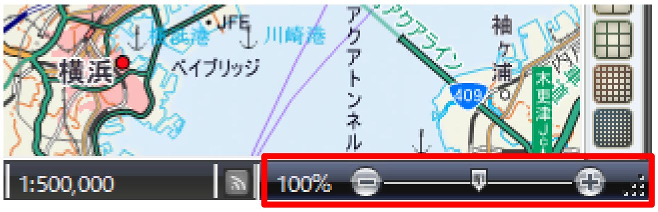
【地図の移動と表示】
●PgUp,Dnキー/ホイール時の変化量
　ホイール回転時の地図拡大率/縮小率をレベル1（最小）～レベル6（最大）で設定します。
●マウスホイールの地図拡縮方向を逆転する。
デフォルトの設定では、ホイールを上側に回すと縮小、下側に回すと拡大します。
上側で拡大、下側で縮小するように回転の向きを逆転させることができます。
●検索時に最大縮尺地図を表示する
検索による地図移動時に、収録されている最大縮尺地図を表示します。
●検索結果を必ず地図中心に表示する
　検索結果をクリックしたとき、その位置が地図中心になるように移動します。
●地図収録範囲外で自動的に地図を切り替える
収録されていない地図データの領域を表示しようとした場合に、より縮尺の小さい地図データの最大縮尺（中域図なら1/25000、小域図なら1/10000）に自動的に切り替えます。
●絞り込み検索時に地図を移動する
住所検索の絞り込み検索時に、地名をクリックするごとに地図を自動的に移動するかどうかを切り替えます。
●地図データが存在しない場合小縮尺地図を拡大表示する
収録されていない地図範囲を表示しようとした場合に、より縮尺の小さい
地図種類を拡大して表示します。
●**地**図上に白い線が表示されないようにする
ご利用のハードウエア環境（PC、ディスプレイ、解像度等）やOS種類の組み合わせによっては、地図上に白い線が表示されることがまれにあります。
このような場合にチェックを入れることで白い線が消える可能性があるので、お試しください

【ステータスバーの位置表示】
●画面中心付近の住所を表示する
ステータスバーに画面中心付近の住所を表示します。（初期状態）
●経緯度を表示する
ステータスバーに マウスカーソル位置の経緯度を表示します。

【その他】
●ルート記入ツールで歩行者用データがあれば利用する
　ルート作成時に歩行者用データがある場合、このデータを使ってルートを記入します。
●GPS機器との通信速度
GPS機器とPCを接続する場合の通信速度を変更できます。
●情報記入の「元に戻す/やり直し」を無効にする
数千件のカスタム情報を同時に操作する場合、マシンスペックによってはソフトの動作が重くなることがあります。
そのような場合、一時的に「元に戻す/やり直す」を無効にすると、操作が快適になります。

【地図表示画面の拡大縮小】※地図縮尺の拡大縮小とは違い、地図画面表示の大きさ変更です

表示の変更は画面の右隅にある［ズームスライダー］を使用することで細かい地図表記の文字などが見やすくすることができます。



①スライダーを動かす・・・スライダーを左右に動かす事で地図の表示の大きさを変えます

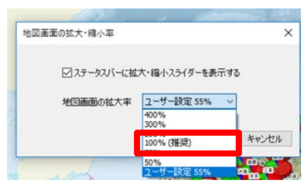


②ボタンを押す・・・  のボタンを押す事で地図の表示の大きさを変えます

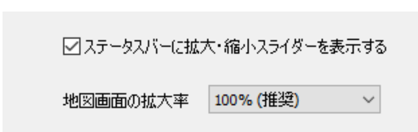


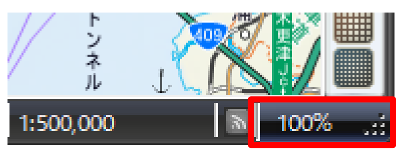
③拡大率を指定する・・・拡大率の文字をクリックして拡大率指定ダイアログにて表示の大きさを変えます





※拡大率指定のダイアログにある「ステータスバーに拡大・縮小スライダーを表示する」のチェックを外すとスライダーを非表示にすることができます





拡大、縮小をすることで地図の表示が変更しました

縮尺は変わらず、表示画面が拡大



縮尺は変わらず、表示画面が縮小



注意事項
製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上